

エコカードが充実しました。



今年度、10年目を迎えたエコカードシステムは、新たに活動の幅と深みを増しています。未就学児向けのカードとして、「ちきゅうとなかよしカード」が試行的に始まりました。子どもたちが生活習慣を身につけた時や、自然に親しむ活動が「できた！」時、先生からスタンプを押してもらえるものです。小学生向けの EWC エコカードはこれまで、低学年用・中学年用・高学年用 3種類でしたが、学年ごとに 6 種類のカードとなりました。小学校各学年の学習内容に沿ったカードとなり、学校現場での取り組みを無理なく進めることができるよう工夫されています。



ますます充実したエコカード

レジ袋協定を結びました。



買い物の際に渡されるレジ袋は、使い捨てられ、焼却されることにより地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出します。西宮市と生活協同組合コープこうべ（市内 21 店舗）は、レジ袋の削減に向けて、6 月に協定を結びました。この協定は、資源やエネルギーを大切に「循環型都市西宮」の創造に向け、市民・事業者・行政が協働で「ごみの減量と資源化」を推進する取り組みの一環です。西宮市は今後、ごみの減量と資源化にむけた広報啓発を強化し、他の大型小売店舗等へも同様の協定締結を目指して積極的な働きかけを行っていきます。



コープこうべとのレジ袋協定

環境講演会を開催しました。



7月25日、「環境を通じた次世代を育むまちづくり」をテーマに、小澤紀美子氏（東京学芸大学教授・NPO法人子ども環境活動支援協会代表理事）の講演が行われました。この講演会は、市民・事業者・行政・NPO等の協働で進めてきた「環境活動を通じた次世代を育むまちづくり」の様々な取り組みを総括し、次世代を育む「環境学習都市にしのみや」のさらなる発展を目指して開催されました。小澤氏は「いつでも・どこでも・だれでもできる環境教育、自然と共生し地域の人たちと一緒に共感しながら学ぶ姿勢が大切」と述べ、小学校PTAを含む参加者ら約150名が熱心に耳を傾けました。



環境講演会

西宮市オリジナル植物に新しい仲間が加わりました。



イヤリングのような花の形が印象的なフクシア。欧米では人気の花ですが、高温多湿を嫌うため、西日本での栽培には適さないとされてきました。西宮市植物生産研究センター（北山緑化植物園内）がサントリーフラワーズ株式会社と共同開発したフクシア『エンジェルス・イヤリング』シリーズは、西日本の夏に耐えられるよう品種改良されています。今年の春には、「フリル・ホワイトタイプ」「ピンク・ラベンダータイプ」の2品種が新たに誕生しました。『エンジェルス・イヤリング』シリーズの評価は海外でも高く、米国や欧州等でライセンス生産されており、西宮で生まれた花が世界の花壇に彩りを添えています。



エンジェルス・イヤリング

環境社会試験（eco 検定）をご存知ですか？

| 主催 | 東京商工会議所・西宮を含む各施行商工会議所

「環境社会検定試験（eco 検定）」は、社会と環境を考える人づくりを目指して平成18年にスタートした検定です。西宮商工会議所は、各地の商工会議所のなかでも率先して eco 検定を推進しています。第1回試験会場となった大手前大学では207名の受験者（全国では13,767名）が、幅広いテーマの環境知識を問う問題に挑戦し、170名のエコピープル（検定合格者）が誕生しました。

